

関東地区昇段審査会の結果と総本部道場月例稽古会の実施

平成30年11月4日、岩崎学園東戸塚校舎において、関東地区昇段審査会が行われ、少年の部、一般の部合わせて120名近くの門弟がそれぞれの段位に挑戦しました。

しかしながら、審査の結果は別表の通りたいへん厳しいものとなり、悲喜こもごもの合格発表の情景となりました。

審査結果の発表後、三代宗家・最高師範から、今回の厳しい結果について講評が行われ、

技術伝承団体としての和道流が進むべき道筋を考えると、全国指導者講習会や総本部月例稽古、各地域講習会等での稽古で取り組んでいる

- 体軸とそれにつながる筋肉作用から技に転換させる技法の習得すなわち、
- 無駄な力、無駄な動作、無駄な技の排除
- 三位一体の動きや攻防一致、攻防自在に至る技法の習得

等を目指してこそ「正統和道流と言えるのだ」との矜持を持って欲しいという、方向性が示されました。

平成30年 関東地区昇段審査会結果一覧(合格率)							
於:岩崎学園東戸塚校							
区分		平成30年5月13日			平成30年11月4日		
		受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
少年	初段	44	40	91%	60	54	90%
	二段	4	2	50%	6	2	33%
一般	初段	15	13	87%	35	17	49%
	二段	9	7	78%	8	1	13%
	三段	4	4	100%	6	0	0%
	四段	3	0	0%	3	0	0%
	五段				1	0	0%

その後、昇段審査受験者も参加し総本部道場月例稽古会が行われ、審査を通じて見受けられた問題点や不十分なところ、技の詳細な使い方・効力等が分かりやすく説明され、参加者一同、次回の審査に向けての決意を新たにして解散となりました。

会員諸氏のさらなる精進を願います。



月例稽古終了後の集合写真

※ 総本部月例稽古会とは、

年に2回開催している「全国指導者研修会・講習会」だけでは、日本国内における指導者の和道技術のレベルが上がらず、諸外国の指導者に比して見劣りがしていると危機感を感じられた二代宗家が、本来は休館日である日曜日の総本部道場を開放し、「原則として支部長クラスの指導者及び将来の指導者候補対象に直接指導をする」として始められた稽古である。